

中土佐町

まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価報告

(第2期 令和2年度分)

令和3年7月

I. 評価基準

◆評価の前提条件

総合戦略の進捗状況等の効果検証の目安として、各KPI（重要業績評価指標）において、「①目標指数」と「②達成度」を算出し、「③評価ランク」により客観的に評価するものとしています。

① 各年度の目標指数

算出方法は、基準値と目標値の差を計画策定年度で按分して算出しています。

$$\text{算出式} : \{ (\text{目標値} - \text{基準値}) / 5 \text{年} \} \times \text{経過年数} + \text{基準値} = \text{目標指数}$$

② 達成度

各年度の目標指数と各年度の実績を比較し、目標指数への達成度を算出しています。

$$\text{算出式} : (\text{実績} / \text{目標指数}) \times 100 = \text{達成度}$$

KPIと令和2年度の実績を比較し、令和2年度時点における達成度を算出しています。

$$\text{算出式} : (\text{実績} / \text{KPI}) \times 100 = \text{達成度}$$

③ 評価ランク

各年度の達成度については、下表のとおり5段階の評価を行っています。

評価ランク表

評価ランク	評価基準
A	目標達成に向け、目標を上回る進捗（成果）である。 （目標指数の達成度が100以上の場合）
B	目標達成に向け、予定どおり進捗（達成）している。 （目標指数の達成度が80以上100未満の場合）
C	目標達成に向け、概ね予定どおり進捗（達成）している。 （目標指数の達成度が50以上80未満の場合）
D	目標達成に向け、改善や手段などを検討する必要がある。（達成していない） （目標指数の達成度が20以上50未満の場合）
E	目標達成に向け、改善や手段などを行う必要がある。（達成していない） （目標指数の達成度が20未満の場合）

Ⅱ. 重要業績評価指標（KPI）の評価

（１）重要業績評価指標（KPI）の達成状況

評価	基本目標Ⅰ	基本目標Ⅱ	基本目標Ⅲ	基本目標Ⅳ	計	シェア率
A	5	0	1	1	7	18.92%
B	1	0	4	3	8	21.62%
C	1	1	1	2	5	13.51%
D	0	3	1	0	4	10.81%
E	7	4	1	1	13	35.14%
合計	14	8	8	7	37	

基本目標ごとのKPI（重要業績指標）の達成状況については、37項目のKPI（重要業績指標）に対して50%以上の達成状況（Cランク以上）が54%と過半となっている。また、達成状況が50%未満（D・Eランク）は46%となっている。

（２）基本目標ごとの達成状況

基本目標Ⅰ. 地場産業の振興による安定した雇用の創出

《基本目標の方向性》

農地場産業の振興や地産外商の推進、観光業の強化を図り、安定した雇用の創出や所得の向上につなげる。

《数値目標》

- i. 住民税被特別徴収者数 基準値（R1）1,881人⇒目標値（R6）1,800人
- ii. 住民税総所得金額 基準値（H30）5,914,040千円⇒目標値（R6）6,000,000千円
- iii. 農業新規就業者数 累計5人（R2～R6）
- iv. 新規開業者数 累計5人（R2～R6）

1. 地場産業の振興

農業者の事業拡大及び経営安定化の推進

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
基幹作物生産量	t	1,727	1,525	1,525	1,525	A

カツオ船をはじめとする漁業の支援

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
カツオ船数	隻	6	6	5	6	B
メディアへの露出回数	回/年	0	4	0	4	E

全国的に希少な地場産業の育成を支援

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
七面鳥および川エビ商品の売上高	千円	0	18,000	5,480	7,030	C

空き店舗などを活用した新たな起業の支援

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
新規開業者数	人	1	5	2	1	A

2. 地産外商の推進

各種認証取得等による商品力の強化と外商力向上の支援

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
認証等を新規取得した事業者数（累計）	件	-	3	0	3	E

新商品の開発と外商の支援

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
新商品の発表数（累計）	件	-	10	1	10	E
新たに外商ルートを開拓した事業者数（累計）	件	-	5	8	5	A

3. 観光関連産業の強化

HPやSNSによる観光情報の発信等の強化

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
道の駅なかとさHP PV数	PV/月	43,000	40,000	46,914	40,000	A
外国人宿泊者数（本陣＋源流）	人	585	600	41	600	E

4. 安定した雇用の創出

地元企業等への就業の確保と定住支援

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
住民税被特別徴収者数	人	813	750	799	750	A

5. 所得の向上

新技術を活用した経営効率の向上

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
設備等の整備件数（累計）	件	8	20	3	20	E

副収入の確保による所得の向上

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
道の駅直販への新規出店者数（累計）	人	5	20	3	20	E
七面鳥生産組合への新規加入（累計）	件	0	2	0	2	E

基本目標Ⅱ．新たなひとの流れをつくる

《基本的な目標》

空き家の活用や高台地域での宅地造成、町営住宅の整備により移住定住の受け入れ基盤を整える。

移住定住希望者への支援を充実させ、新たなひとの流れをつくる。

関係人口の創出により、地域外の協力者ネットワークを構築する。

《数値目標》

i. 人口減少率の縮減 人口の減少率を人口比 6.8%内に抑える。

ii. 町外からの誘致移住者数 累計 180 人（R2～R6）

iii. 関係人口名簿登載者数 累計 75 人（R2～R6）

1. 移住定住の受け入れ基盤整備

空き家活用による移住定住の促進

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
中間管理住宅入居人数（累計）	人	50	100	70	100	C

高台宅地造成と住宅整備による移住定住基盤の整備

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
日ノ川団地新築戸数	戸	0	10	0	10	E
日ノ川団地町営住宅入居率	%	0	100	0	100	E

2. 移住定住希望者に対する支援

移住相談体制の運営

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
移住情報HPのPV数	PV/年	0	12,000	4,813	12,000	D
移住相談窓口を介して定住した人数（累計）	人	35	180	36	180	D

移住者・定住者への住宅取得等に係る支援

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
事業を活用した物件に入居した世帯数（累計）	世帯	11	45	6	45	E
移住し、補助金を活用した件数（累計）	件	0	10	0	10	E

3. 関係人口の創出

関係人口の創出

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
関係人口名簿登載者数（累計）	人	17	75	17	75	D

基本目標Ⅲ. 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

《基本的な目標》

誰もが希望の時期に子どもを生み育てやすい環境づくりに向け、結婚、妊娠、出産、子育てなどのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策を進め、安心して結婚、子育てできる環境をつくる。

《数値目標》

- i. 年少人口 基準値（H30.10.1）557人⇒目標値（R6）529人

1. 出会いから結婚までの支援

出会いの場への参加支援

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評価
				実績	目標指数	
事業を活用して結婚した組数（累計）	組	0	5	0	5	E

2. 妊娠・子育て支援

妊娠期から幼児期の子育てに係る経済的負担の解消

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
出生数	人/年	23	35	19	35	C

小児期から高校生期までの支援

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
対象世帯の申請率	%	100	90	100	90	A

子育てにかかる包括的な支援体制の整備

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
子育て相談受付件数 (累計)	件	-	120	47	120	D

3. 学力向上と郷土愛の涵養

学力向上・ふるさと教育事業

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
中土佐検定合格率(小学生・算数)	%	99	100	97.0	100	B
中土佐検定合格率(中学生・数学)	%	89	100	87.6	100	B
中土佐検定合格率(中学生・英語)	%	95	100	94.6	100	B
中土佐検定合格率(中学生・漢字)	%	99	100	98.5	100	B

基本目標Ⅳ. 安心して誰もが地域で自分らしく暮らすことができるまちづくり

《基本的な目標》

すべての住民が、健康で生きがいを持ち、お互いに支え合い、安心して暮らせるまちをつくる。

《数値目標》

- i. あったかふれあいセンター相談数 基準値 (H30) 141 件⇒目標値 (R6) 160 件
- ii. 集落活動センター事業数 基準値 (H30) 2 件⇒目標値 (R6) 7 件
- iii. 「こども 110 番の家」設置数 基準値 (H30) 21 件⇒目標値 (R6) 30 件
- iv. コミュニティバス利用者数 基準値 (H31) 6,217 件⇒目標値 (R6) 7,200 件

1. あったかふれあいセンターの運営

あったかふれあいセンターの運営

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
あったかふれあいセン ター相談受付件数	件	152	160	139	160	B

2. 住民主体の地域づくりの支援

地域活動の支援

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
ケースの課題解決件数	件	1	1	2	1	A

集落支援員の配置

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
集落活動センターの売上高	千円	957	3,500	1,940	3,500	C

3. 地域における子供の見守り体制の構築

「こども110番の家」の設置

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
「こども110番の家」小 学生の認知度	%	-	100	-	100	E

交通安全指導体制を強化

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
交通安全指導員数	人	7	8	7	8	B

4. 高齢者等の外出手段の確保

コミュニティバスの運営支援

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
コミュニティバス利用 者数	人	6,189	7,200	5,939	7,200	B

コミュニティバスの利用促進

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値 (R元)	目標値 (R6)	R2年度		評 価
				実績	目標指数	
バスパス交付対象者の 申請率	%	35.3	50	35.6	50	C

Ⅲ. 第2期中土佐町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価

(1) 基本目標の達成状況

基本 目標	数値目標	単 位	基準値	R2年度			評 価
				実績	目標値	達成率(%)	
Ⅰ	住民税被特別徴収者数	(R6) 1,800 人	(R元) 1,881	1,478	1,800	82.1	B
	住民税総所得金額	(R6) 6,000,000 千円	(H30) 5,914,040	5,626,534	6,000,000	93.8	B
	農業新規就業者数	(R2~R6) 累計5 人	(R元) 0	2	5	40.0	D
	新規開業者数	(R2~R6) 累計5 人	(R元) 1	2	5	40.0	D
Ⅱ	人口減少率の縮減	▲ 6.8 %以内	▲ 2.6	▲ 3.4	▲ 6.8	50.4	A
	町外からの誘致移住者数	累計180 人	(R元) 35	36	180	20.0	D
	関係人口の創出 (関係人口名簿登載者数)	累計75 人	(R元) 17	17	75	22.7	D
Ⅲ	年少人口	(R6) 529 人	(H30.10.1) 557	521	529	98.5	B
Ⅳ	あったかふれあいセンター 相談数	(R6) 160 人/年	(H30) 141	139	160	86.9	B
	集落活動センター事業数	(R6) 7 件	(H30) 2	5	7	71.4	C
	「こども110の家」設置数	(R6) 30 件	(H30) 21	21	30	70.0	C
	コミュニティバス利用者数	(R6) 7,200 人	(H31) 6,217	5,939	7,200	82.5	B

基本目標の達成状況については、農業新規就業者、新規開業者数、町外からの誘致移住者数で達成率が高くなっている。一方で、人口減少率の縮減は目標値に対して減少が進行しており、年少人口は目標値を下回っている。

（２）自己評価（内部評価）

総合戦略の数値目標および基本目標ごとのK P I（重要業績評価指標）は進捗している部分が多くなっているものの、R 2年度には事業未実施でこれから取り組みをスタートするものもあり、引き続き事業の進捗を確認していく必要がある。

人口減少率の縮減、年少人口は目標値を下回っており、総合戦略の根源的な目標の達成には遠い状態となっている。今後も、総合戦略の推進のため、P D C Aサイクルをまわして事業の改善等をおこなっていく。

（３）外部有識者（評価委員会）のコメント

人口減少の抑制には、生活及び移住の環境整備が基軸となる。前者については評価が高く今後も期待できるといえる。後者についても評価には明確に表れていないが居住場所の確保する計画が進められており、コロナ禍以降に実績が出るものと予想される。

住居確保という物理的環境は、本戦略で段階的に成果が得られているものの、雇用また所得向上に向けた取り組みについては、新たな手段の検討が必要である。基幹産業である１次産業の発展が重要であるが、農林水産業のそれぞれにおいて特化した生産量を得ることが難しいため、品質の向上を図りブランド化による価格向上を目指すことが一手法となる。そのためには、町を認知してもらうメディアへの露出、SNSでの情報発信、またブランド化戦略の構築などを実施することが望ましい。